

次期森林計画についての森林管理署 の検討方向

〈対馬森林計画区〉

— 目 次 —

1. 現行計画の概要

- (1) 国有林野の管理経営に関する基本的な事項
- (2) 国有林野の維持及び保存に関する事項
- (3) 林産物の供給に関する事項
- (4) 国有林野の活用に関する事項

2. 次期計画の検討方向

- (1) 管理経営上の課題
- (2) 計画内容

長崎森林管理署

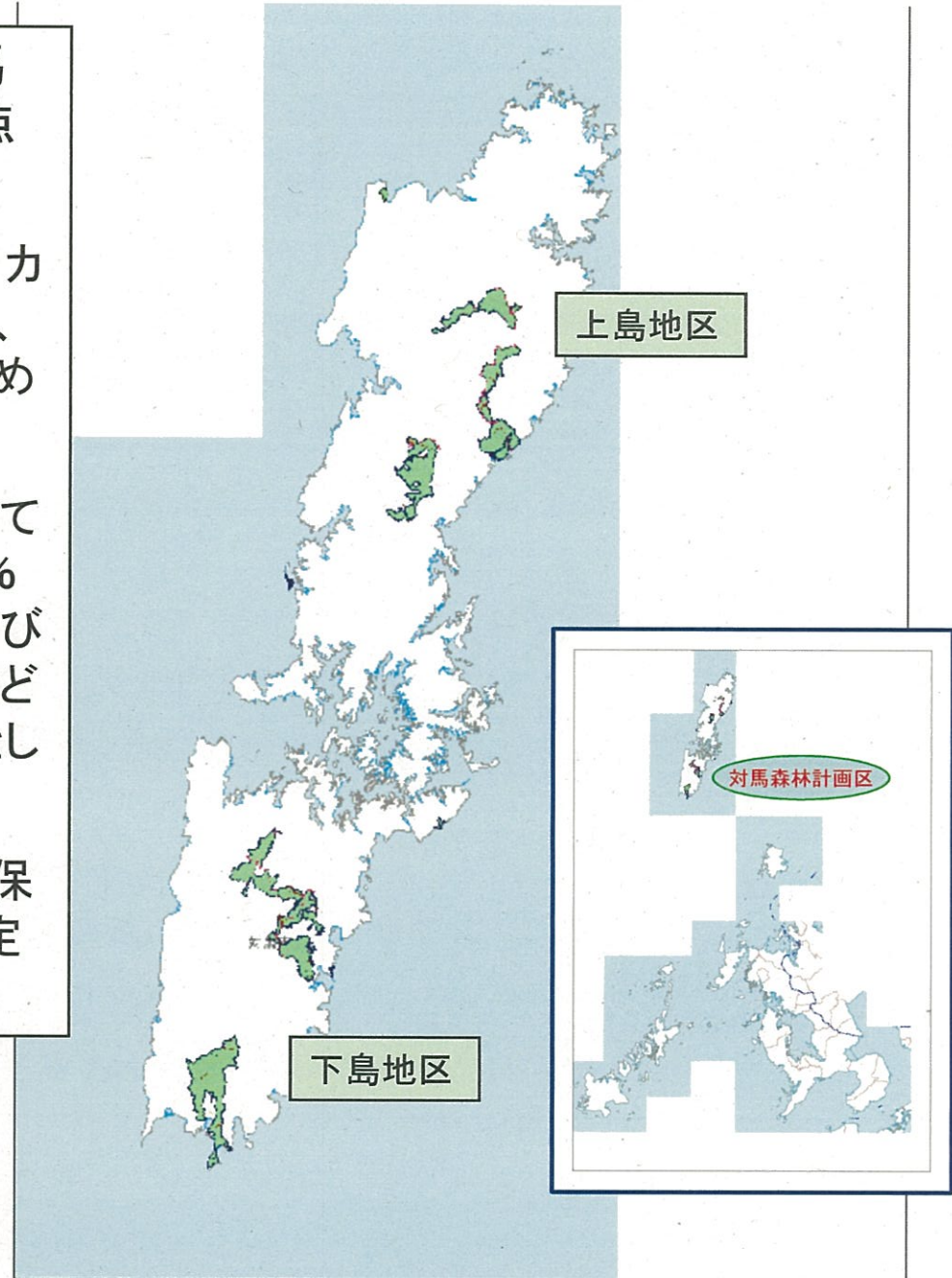
1. 現行計画の概要(平成27年4月1日～32年3月31日)

- ・対馬森林計画区の対象は、長崎県対馬市に位置する上島地区及び下島地区に点在する国有林野4,217haです。
- ・対馬市の全森林面積の約7%にあたり、カシ類、クヌギ等の天然林が約47%、スギ、ヒノキを主体とする人工林が約53%を占めています。
- ・管理区域のうち制限林が約99%を占めており、水源かん養保安林が全体の約51%に達し、その一部は壱岐対馬国定公園及び史跡名勝天然記念物に指定され、登山などの森林レクリエーションや保健休養の場として多くの人に利用されています。

さらに、御岳にはツシマヤマネコの種の保護を目的とした、希少個体群保護林を設定しています。



ツシマヤマネコの仔ネコ



(1) 国有林野の管理経営に関する基本的な事項

① 機能類型に応じた管理経営

もり
森林に対する国民の要請が多様化してきているなか、開かれた「国民の森林」に向けた取組を推進するため、個々の国有林野を、重視すべき機能に応じて5つの機能類型に区分し公益林として管理経営を行っています。

機能類型区分(面積)	機能類型区分の考え方	目指すべき森林の姿
山地災害防止タイプ (1, 057ha)	山地災害の防止及び土壌保全機能の発揮を重視。	根や表土の保全、下層植生の発達した森林。
自然維持タイプ (732ha)	原生的な森林生態系や希少な生物の成育・生息する森林など属地的な生物多様性保全機能の発揮を重視。	良好な自然環境を保持する森林、希少な生物の育成・生息に適した森林。
森林空間利用タイプ (62ha)	保健、レクリエーション、文化機能の発揮を重視。	保健・文化・教育的利用の形態に応じた多様な森林。
快適環境形成タイプ (0ha)	快適な環境の形成機能の発揮を重視。	騒音の低減や大気の浄化など、人の居住環境を良好な状態に保全する役割を持つ森林。
水源涵養タイプ (2, 366ha)	水源涵養機能の発揮を重視。	人工林の間伐や伐期の長期化、広葉樹の導入による育成複層林への誘導を図る森林。 森林資源の有効利用にも配慮。

② 森林の流域管理システムの下での森林・林業再生に向けた貢献

対馬流域森林整備推進協定運営会議等の場を通じ、県・市との密接な連携を図るとともに、組織・技術力・資源を活用し、民有林経営の支援等に積極的に取り組みます。

林業技術向上のための現地研修会を実施しています。



国有林内において、林業事業者、県の林業普及指導員等も参加して、路網と高性能林業機械を組み合わせた低コスト・高効率な作業システムに関する現地検討会を行い、民有林への技術の普及に取り組んでいます。

民有林と協調した効率的な森林整備を推進しています。

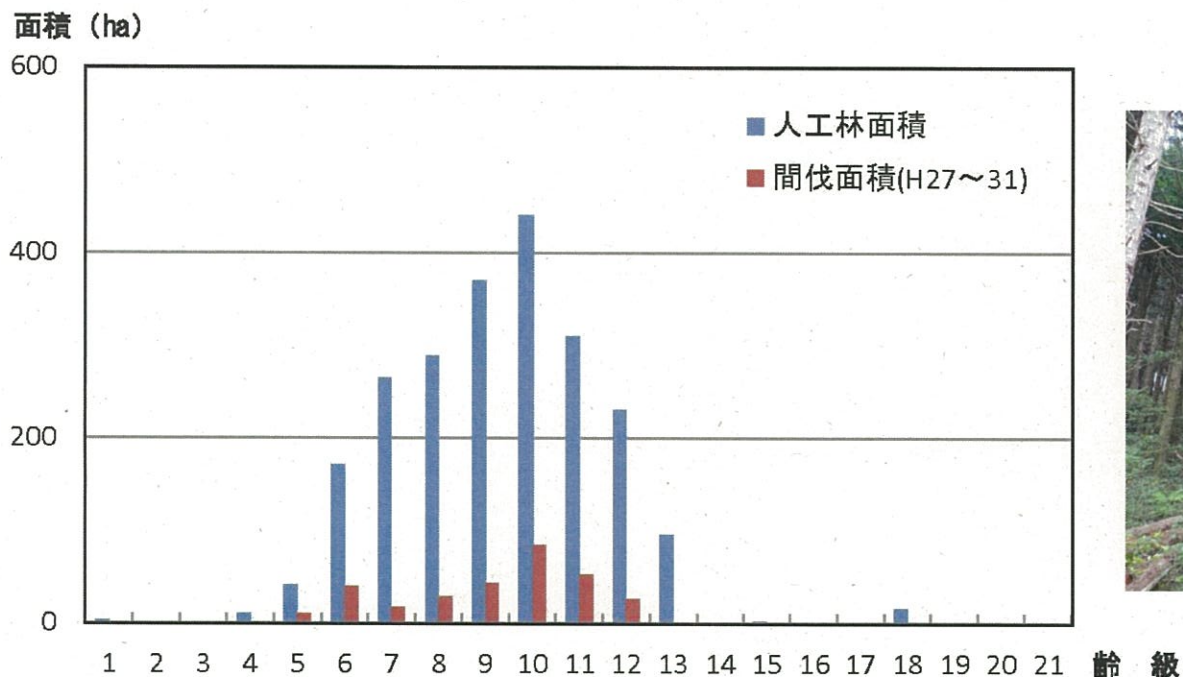


民有林と国有林が隣接する森林に「森林共同施業団地」を設定し、関係者が連携して路網整備や森林整備を行い、スケールメリットを生かした作業の低コスト化や安定供給体制の強化に取り組んでいます。

③ 地球温暖化防止に向けた積極的な間伐等の推進

本計画区の人造林の面積は約2,252haで、16年生から60年生の人造林の面積は約2,127ha（人造林面積の約94%）です。

また、現行計画（H27年度～31年度）では間伐を約676ha計画しており、森林吸収源対策のためにも間伐を推進しています。



列状間伐を導入した人工林

注:1年齢級は1~5年生を表します。

④ 多様で健全な森林の整備・保全

間伐をはじめとした森林整備に積極的かつ着実に取り組むとともに、針広混交林化、複層林化、長伐期化などを通じて、多様で健全な森林の整備・保全を推進します。



(2) 国有林野の維持及び保存に関する事項

生物多様性の保全(保護林)

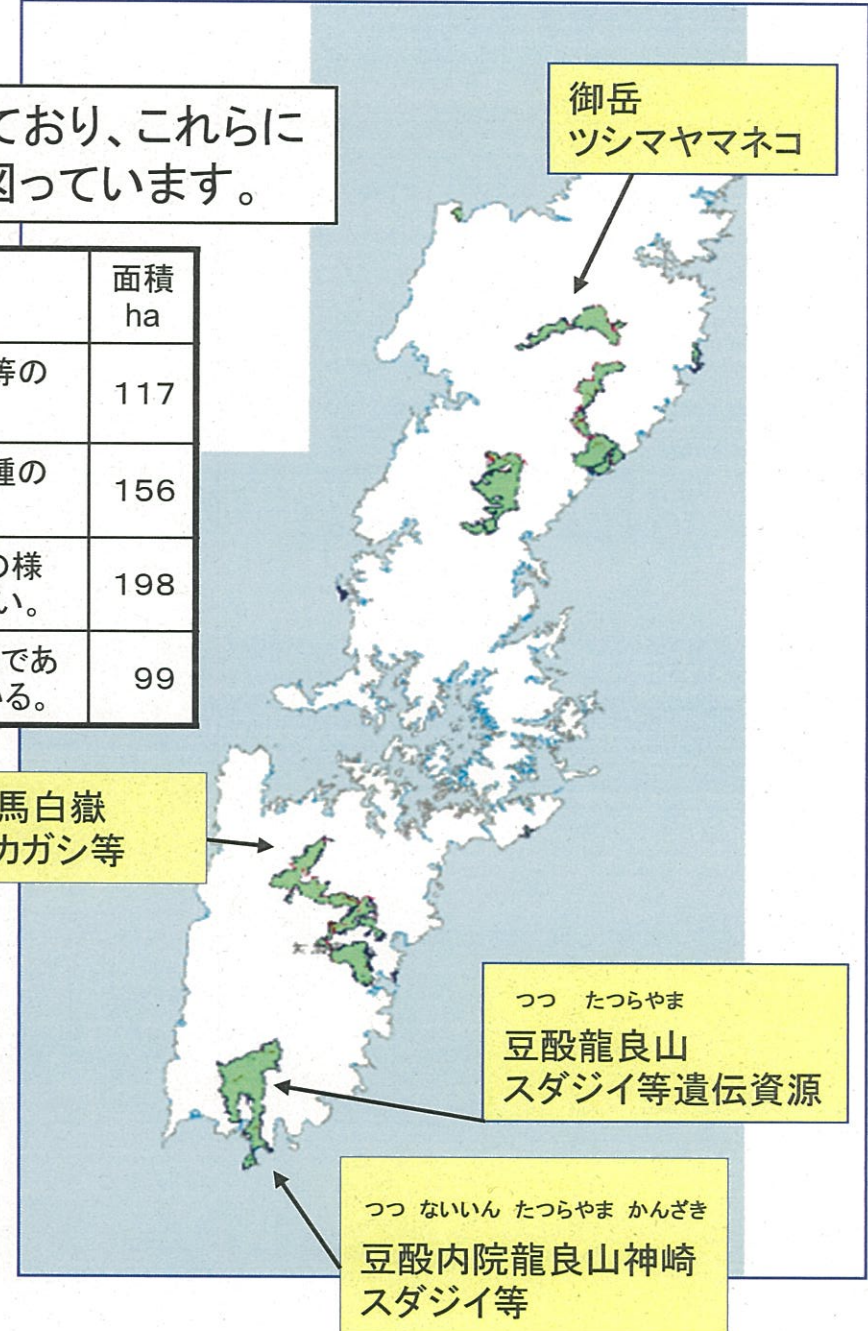
本計画区には貴重な天然林等が多数存在しており、これらについては保護林を設定し、適切に保護・保全を図っています。

種類	名称	特徴等	面積 ha
希少 個体群 保護林	豆酏龍良山スタ ジイ等遺伝資源	スタジイ、イスノキ、アカガシ、イヌマキ等の 遺伝資源を保存する。	117
	御岳ツシマヤマ ネコ	絶滅のおそれのあるツシマヤマネコの種の 保護のため。	156
	対馬白嶽アカガ シ等	山頂部に大陸系の植物を含む原生林の様 相を示し、植物地理学的に特異性が高い。	198
	豆酏内院龍良山 神崎スタジイ等	沿岸部の暖地性照葉樹林として典型的であ り、自然性の高い希少な群落となっている。	99



龍良山のスタジイ

対馬白嶽
アカガシ等



(3) 林産物の供給に関する事項 高効率・低コストな作業システムの定着

伐採、造林等の事業の実施の効率化を図りつつ、健全な森林を整備するとともに、木材の需要動向や木材産業の状況等を的確に把握しつつ、国有林材の安定的な供給を推進しています。



林業生産コストの削減を図るため、効率的な間伐の実施、簡易で崩れにくい路網の整備を推進しています。

(4) 国有林野の活用に関する事項

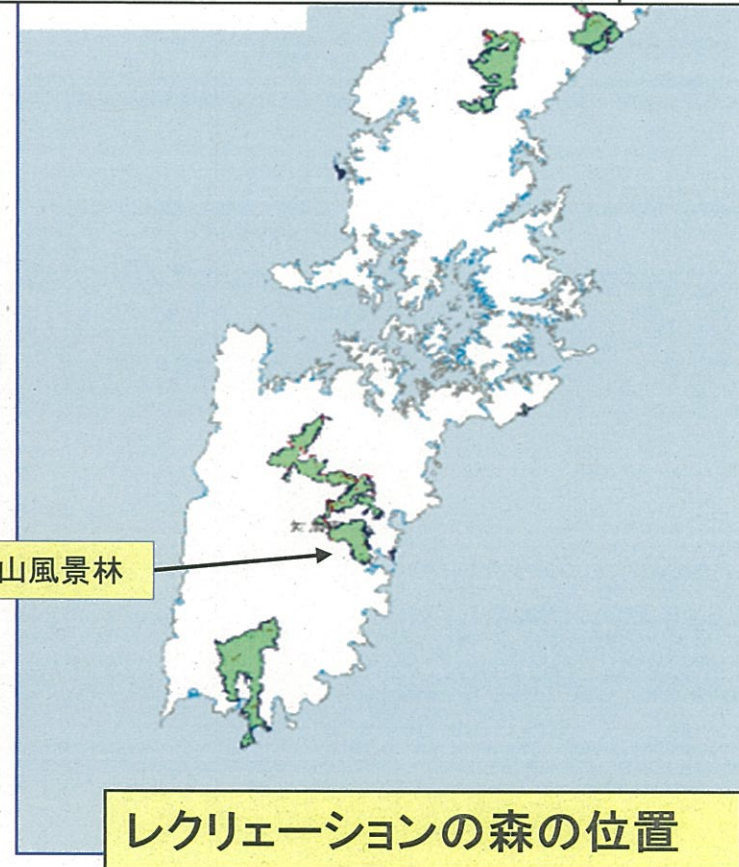
レクリエーションの森の保健・文化的利用の推進

優れた自然景観を有し、森林浴や自然観察、野外スポーツ等に適した森林をレクリエーションの森として設定し、地域の方々に提供しています。

種類	名称	概要	面積(ha)
風景林	有明山	対馬の表玄関の厳原港及び厳原市街地を見下ろす有明山周辺にあり、八幡神社からの登山道の途中に「清水山城跡」があります。また、キリシマミドリシジミの繁殖地も含んでおり、散策等の好適地として利用されています。	60



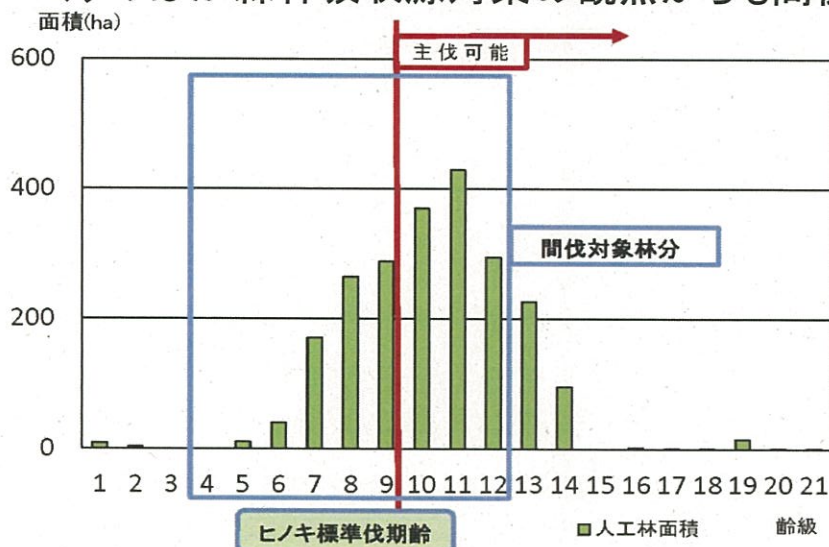
春の有明山



2 次期計画の検討方向

(1) 管理経営上の課題

- ・システム販売により地域への安定的な木材の供給等を通じ川上・川中・川下の関係者と連携を強化し、供給体制の構築を図るとともに林業事業体の育成を図る必要があります。
- ・次期計画においては間伐対象となる16年生から60年生の人工林の割合は84%となっており、健全な森林づくりのほか森林吸収源対策の観点からも間伐を推進する必要があります。



- ・近年、シカによる造林木の食害・剥皮の害が増えていることから、民有林と連携した防護対策や個体数を管理するための施策を推進する必要があります。
- ・地域との合意形成を図り景観形成等の目標を設定し、「レクリエーションの森」を魅力あるフィールドとして整備する必要があります。
- ・ツシマヤマネコの生息環境の維持・保全を図る必要があります。
- ・本計画区の国有林野が有する水源かん養機能や保健文化機能等の公益的機能の発揮を高めていく必要があります。

(2) 計画内容①

・国産材の安定供給を実現するため、間伐材を中心に需要先へ安定的・計画的に木材を供給するシステム販売に取り組むとともに、生産システムのコスト縮減と生産性向上を進める。
又、エネルギー原料としての利用等新たなニーズに応えるため、これまで利用してこなかった林地残材等の活用を進めていく。



活用型箇所の集材風景



林地残材

(2) 計画内容②

・シカによる農林業被害が著しいことから、被害を低減させるため長崎森林管理署と対馬市との間で締結された「シカ被害対策協定」に基づき、協力体制の構築を図り連携した被害対策に継続して取り組む。

「シカ被害対策協定」調印式



くくり罠(笠松式)設置状況

(2) 計画内容③

・森林の維持造成を通じて、国民が安全・安心に暮らせる生活環境を保全・形成し、水源かん養機能等の公益的機能を高めるため、治山対策に取り組む。



下流への土砂流出を防ぐ木製床固工(校倉式)

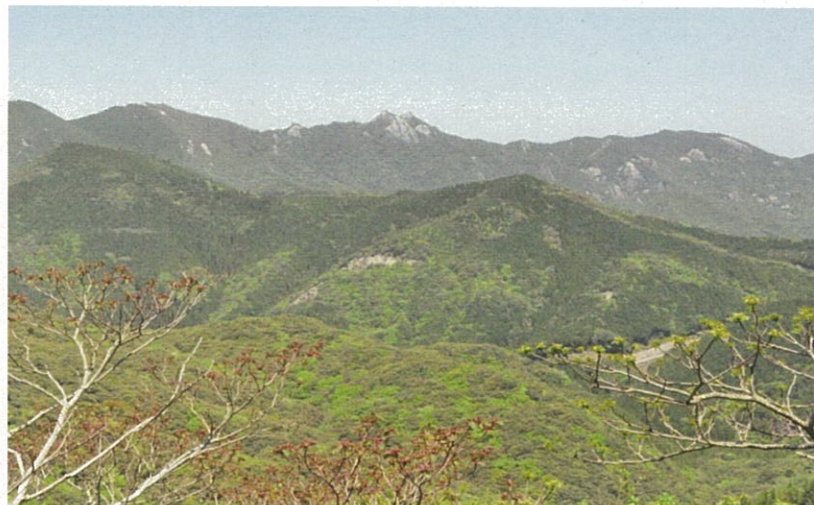
・国民参加による森林づくりに関する問い合わせや相談が増加していることから、これらの要請に適切に応えていく。

(2) 計画内容④

・本計画区には希少個体群保護林やレクリエーションの森を設定しており、これらの国有林野を適切に管理していく必要があります。

希少個体群保護林

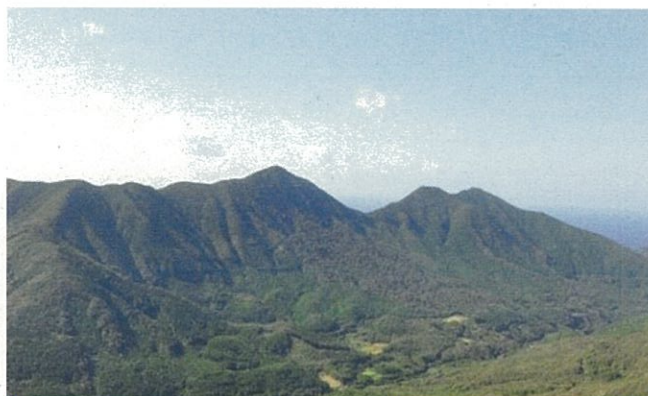
龍良山原始林はスタジイ、アカガシ、イスノキなどが生育し国の天然記念物として指定され、これらの遺伝資源保護を目的に保護林として管理しています。



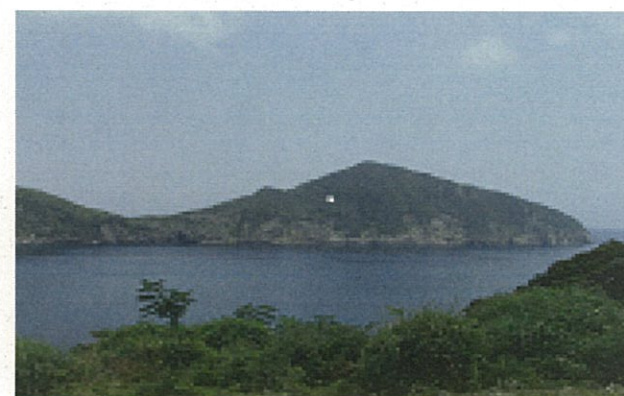
対馬白嶽アカガシ等

白嶽は、州藻白嶽原始林として国の天然記念物に指定され、大陸系のハクウンキスゲ、タンナチョウセンヤマツツジや対馬固有のツシマイボタ、シマトウヒレンなど貴重な植物が生育しています。また、古くから霊峰として信仰を集めている山でもあります。

神崎半島のスタジイやイスノキ、ナタオレノキ等からなる群生で沿岸部の暖地性照葉樹林として自然性・希少性が高いことから保護林として管理しています。



つつ たつらやま
豆酩龍良山スタジイ等遺伝資源



つつ ないいん たつらやま かんざき
豆酩内院龍良山神崎スタジイ等

(2) 計画内容⑤

・本計画区には希少個体群保護林やレクリエーションの森を設定しており、これらの国有林野を適切に管理していく必要があります。

希少個体群保護林

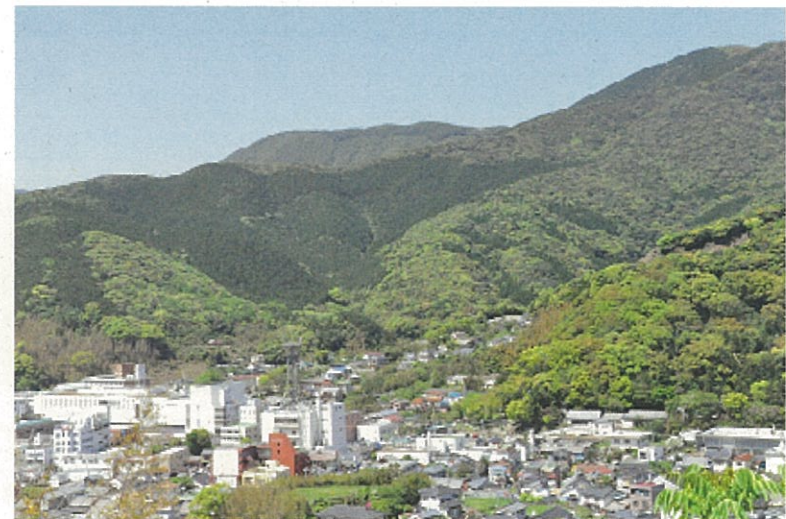
御岳ツシマヤマネコ



ツシマヤマネコが生息する御岳周辺の人工林では保育間伐等による生息環境の維持・整備を行っています。

レクリエーションの森

有明山風景林



有明山風景林は厳原港から一望でき、レクリエーションの森として、多くの人々に親しまれ利用されています。

(2) 計画内容⑥

・本計画区には、絶滅のおそれのあるツシマヤマネコが生息することから、これの生息環境の保全に留意しつつ、国有林野を適切に管理していく、また、その生息環境の維持・保全を図るために巡視を引き続きに行う。



ツシマヤマネコの親子

捕獲したヒメネズミ



ツシマヤマネコの餌となる
ネズミの生息状況について、
モニタリング調査を実施する。